

児童生徒用デバイスの活用について

2024年4月23日
JSKL ICT校務部

1. 本校の基本方針

- 本校では、Chromebook や他機種のもつ仕様、学校教育活動で必要となる機能等を総合的に判断し、中学部では Chromebook を使用すること、小学部では Chromebook を含むデバイスを使用することを基本方針として進めています。
- 本校では、日本の文部科学省の GIGA スクール構想をもとに、在日の学校に先駆け、2018 年ごろから ICT 教育を学校の柱として進めてきました。COVID-19 の感染拡大によって休校になったときも、導入されていた Chromebook や iPad を各ご家庭でご利用いただくことで、オンライン授業を行うことができました。今では多くの小中学校で一人一台のデバイスが準備されています。しかし今後数年のうちに、本校を含む日本の多くの学校で、GIGA スクール構想のときに整備したデバイスが寿命を迎える時期を迎えます。現在日本の各自治体では、自治体の財源のみでデバイスを購入（またはリース）していくのか、各ご家庭で端末を購入してもらうのか、という判断に迫られています。そこで多くの学校で検討されているのが、BYOD (Bring Your Own Device) という、「自分で使用しているデバイスを学校に持ち込んで、学習に使用する」という方法です。本校は日本の学校の今後の動向、さらには今後の世界的情勢を鑑み、BYOD を推進してまいります。

2. 現状と今後の計画（概要）

	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度(検討中)
小 1, 2 年	iPad 貸出	iPad 貸出	iPad 貸出	
小 3, 4 年	iPad 貸出	iPad 貸出	デバイス持参 or Chromebook 貸出	
小 5, 6 年	デバイス持参 or Chromebook 貸出	デバイス持参 or Chromebook 貸出	デバイス持参	
中 1 年	Chromebook 持参	Chromebook 持参	Chromebook 持参	
中 2 年	Chromebook 持参	Chromebook 持参	Chromebook 持参	
中 3 年	Chromebook 持参	Chromebook 持参	Chromebook 持参	

※デバイス持参：Chromebook や iPad などの端末を持参。※Chromebook 持参：Chromebook のみ持参。

3. 2024 年度の計画（詳細）

後記の 2025 年度以降の計画に向けて、2024 年度は、次のようにしていきます。

- ①小学部 1～4 年生は、iPad を貸し出します。（各ご家庭での購入の必要はありません。）
 - ・低学年は文字を打つことよりも、写真を撮ったり絵を描いたりすることが多いです。
 - ・iPad の方が、アプリを使うことができ、直感的な操作で扱うことができます。
 - ・iPad を使うのは 2 年間のみなので、家庭での購入は負担が大きく、持ち運びや管理が大変なため、本校にて準備し貸し出しを行います。
- ②小学部 5, 6 年生は、デバイスの持参、または Chromebook の貸し出しとします。
 - ・どの機種でもできる活動がほとんどであるため、持参するデバイスの種類は特に制限はしません。※中学部では全員 Chromebook を持参していただきます。家庭でも使用するためにも、操作に慣れるためにも、本校の中学部に進学する予定があるご家庭は、早めのご購入をお勧めします。
- ③中学部生徒は、Chromebook の持参をお願いします。
 - ・Chromebook でしか使えない機能を授業やテストで使うことが多いです。
 - ・Chromebook には後述のような利点・欠点があり、他のデバイスよりも学校生活に適していると考えています。

4. 2025年度計画（詳細）

- ①小学部 1,2 年生は、iPad を貸し出します。（各ご家庭での購入の必要はありません。）
- ②小学部 3,4 年生は、デバイスを持参、または Chromebook を貸し出しとします。
 - ・ Chromebook ではなくても授業などの活動を行うことができるため、持参するデバイスの種類は、特に制限はしません。
 - ・ 貸し出すデバイスの種類は Chromebook のみです。直感的に操作できる iPad から、より機能性が高くパソコンに近い操作感のある Chromebook に移行していくためです。
 - ・ 小学 3 年生でローマ字を習うため、物理キーボードを使って入力する活動が増えます。
- ③小学部 5,6 年生は、全員デバイスを持参とします。
 - ・ Chromebook ではなくても授業などの活動を行うことができるため、デバイスの種類は問わないことにします。
 - ・ 家庭での活用も推進するため、学校貸し出しではなく個人購入をお願いします。
 - ・ 直感的に操作できる iPad から、よりパソコンに近い Chromebook に移行します。
- ④中学部生徒は、全員 Chromebook を持参とします。

5. 活用事例・使用について

(1) 本校での活用事例

- ・ Classroom を使って、課題を配付したり提出したりする活動。
- ・ Classroom を使って、各教科や委員会などの連絡を配信する場面。
- ・ Google カレンダーを使って、各教科の予定や学校の行事などを共有する活動。
- ・ インターネットを使った調べ学習をする場面。
- ・ 調べたことや学習したことを、スライドやドキュメント、動画にまとめて共有・発表する活動。
- ・ スプレッドシートや Jamboard を使って、学級会や話し合いをする活動。
- ・ スプレッドシートを使って、実験などの数値を表やグラフにしてまとめる活動。
- ・ 身のまわりの植物や物体などを撮影し、それを共有する活動。
- ・ 体育や JSKL 活動などで、自分の動きを録画して再確認したり、他と比較したりする活動。
- ・ Meet や ZOOM を使って、オンライン授業を受けたり、授業を繋いだりする場面。
- ・ 単元テストや定期テストを受ける場面。（Google のロックモードを使用）
- ・ 情報リテラシー、情報モラルについて学ぶ活動。

(2) 端末の使用について

- ①ご家庭から持参していただくデバイスには、管理ソフトを入れることはしません。ご家庭での個人的な使用を制限することは一切ありません。
- ②Chromebook などの持参していただく端末を学校で充電するスペースは設けていません。充電はご家庭で行っていただきます。充電が切れた場合などは、学校にある端末を貸し出します。
- ③学校が貸し出すデバイスを持ち帰ることはできません。校内での使用のみとなります。よって、家庭で課題に取り組んだり、連絡等を確認したりする場合には、ご家庭でデバイスが必要になります。
- ④Chromebook などの個人持ちデバイスについては、毎日必ず持参するというわけではありません。授業などで使うことが分かっている日のみ、持参してください。（中学部ではほぼ毎日使用しています。）
- ⑤学校内においては、学校生活に関係のない使い方はしない、他人に迷惑のかかる使い方はしない、という原則で使用していきます。デバイス使用上のルールを別紙にて決めています。
- ⑥PC は初期不良や破損等により、修理が必要になることがあります。もし可能であれば、購入時や購入後に保険に加入することも検討されると良いかと思えます。

6. 購入について

①小学部で使用するデバイスを購入する際には、次のことにご留意ください。

- ・主なメーカーは、Apple、Acer、ASUS、HP、DELL、Lenovo などです。
- ・画面サイズは9～14 インチを推奨。 ※あまり大きいと机上のスペースがせまくなります。
- ・PC 型の場合、コンバーチブル（画面が360° 回転する機能）は、どちらでも可。
- ・ZOOM や Meet を使用することがあるため、インカメラは必須。アウトカメラはどちらでも可。
- ・バッテリーは、8 時間以上が目安。
- ・Wi-Fi は、IEEE 802.11a/b/g/n/ac 以上であること。
- ・日本語入力に対応していること。
- ・大型テレビに接続することがあるので、HDMI 端子があると便利です。
- ・破損を防ぐため、本体を保護するケースが必要です。
- ・有線イヤフォンも合わせて準備してください。高音質である必要はないので安いもので大丈夫です。また、そのイヤフォンを接続する端子が必要です。
- ・タッチペン、マウスなどの購入は任意です。
- ・所有者を識別するため、デバイス本体やイヤフォンなどには記名をお願いします。
- ・スマートフォンは画面が小さく授業等では使いづらいため、持参するデバイスには向きません。

※中学部からは全員が Chromebook であるため、現在小学部でも、今後 JSKL 中学部に在籍する可能性のあるご家庭は、Chromebook を購入されることをお勧めします。

②中学部で使用する Chromebook を購入する際には、次のことにご留意ください。

- ・主なメーカーは、Acer、ASUS、HP、DELL、Lenovo などです。
- ・画面サイズは9～14 インチを推奨。 ※あまり大きいと机上のスペースがせまくなります。
- ・コンバーチブル（画面が360° 回転する機能）は、どちらでも可。
- ・ZOOM や Meet を使用することがあるため、インカメラは必須。アウトカメラはどちらでも可。
- ・バッテリーは、8 時間以上が目安。
- ・Wi-Fi は、IEEE 802.11a/b/g/n/ac 以上であること。
- ・日本語入力に対応していること。
- ・大型テレビに接続することがあるので、HDMI 端子があると便利です。
- ・破損を防ぐため、本体を保護するケースが必要です。
- ・有線イヤフォンも合わせて準備してください。高音質である必要はないので安いもので大丈夫です。また、そのイヤフォンを接続する端子が必要です。
- ・マウスがあると便利です。（中学部では2割程度の生徒が使っています）
- ・所有者を識別するため、デバイス本体やイヤフォンなどには記名をお願いします。
- ・CPUは Intel Celeron 同等以上。
- ・RAM（メモリ）は4GB 以上。
- ・ストレージ（SSD、HDD、MMC）は32GB 以上を推奨。

③卒業・転出の予定が決まっておりそれまでの日数が少ない場合や、編入してからしばらくの間（購入されるまでの期間）は、学校にある予備機を貸し出すことが可能です。しかし予備機の台数にも限りがあるため、できるだけご購入にご協力ください。

7. その他

- ①Chromebook などのデバイスの耐久年数については、次のように言われています。耐久年数が近くなると、動作の不具合のほか、バッテリーの寿命が問題となってきます。バッテリーを長持ちさせるには、過充電をしないこと、充電をしながら使わないこと、などがあげられます。適切な充電方法を継続することで、デバイスを長期間使うことができます。
- ②本計画は、現在の Chromebook や iPad の仕様と、本校のデバイスの状況をもとに立てた計画であるため、2025 年度以降の計画については変更になる可能性があります。
- ③Chromebook と他のデバイスとの比較

	利 点	欠 点
Chromebook	安価である。 堅牢性が高い。 セキュリティが高い。 バッテリーの持ちが良い。 Google との相性が良い（操作性◎） iPad よりも PC に近い使い方ができ、 PC 活用の導入として適している。	Windows PC よりも機能が限定的である。 オンラインで使うことが前提である（オフラインでも使用可）
iPad	多くのアプリに対応。 直感的に操作できる。 世界的に普及している。 カメラがきれい。	高価である。 本体やアプリの機能を越える使い方はできない（機能が限定されている）。 タイピングをするには物理キーボードを買う必要がある。
Windows PC	会社などで広く使われている。 多くの機能を持っており、さまざまなことができる。 高校生や社会人など、ある程度 PC を使いこなせる人にとっては利便性が高い。	高価である。 バッテリーの持ちがよくない。 機能が多く、使いこなせないことやトラブルが多い。 セキュリティが高くない。